

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	① 汚染水貯蔵(タンク等)
御提案件名	二重殻(ダブルハル)構造メガフロート式汚染水貯蔵施設
御提案者	三菱重工業株式会社
<p>1. 技術等の概要(特徴、仕様、性能、保有者等)</p> <p>① 特徴</p> <p>本提案は二重殻(ダブルハル)構造のメガフロートを福島第一原子力発電所港湾内に係留し、大容量の汚染水貯蔵タンクとして利用するもので、主として多核種除去設備処理水を貯蔵することを目的とするものである。特徴を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大容量(貯蔵量10万トン)、短納期が可能である(港湾浚渫不要、納期1年程度)</li> <li>・全溶接構造のため、長期にわたり漏洩を防止でき、汚染水を安全に貯留できる。</li> <li>・二重殻構造のため、万一の漏洩時にも外部(海)への漏えいを防止できる。また、外殻と内殻の間に漏洩検知システムを設置することにより、万一漏洩した場合でも速やかに検知でき、漏えい区画の貯留水を移送後に、外殻と内殻の間から破損部の補修が可能である。</li> <li>・港湾内の空きスペースを有効に活用することにより陸上敷地を不要とし、大量の汚染水を長期に渡り安定貯蔵できる。</li> <li>・浮体構造物であり、耐震性や地盤沈下を考慮する必要が無い。</li> <li>・工場にて製作(溶接)・検査まで完了させることによる高品質確保(現地溶接なし)。</li> <li>・10年以上漏えいを防止できる板厚(腐食代)を確保。</li> </ul> <p>② 仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長さ100m×幅24m×深さ6m(ダブルハル:二重殻構造)</li> <li>・貯蔵容量 約100,000m<sup>3</sup></li> <li>・漏えい検知機構付き</li> </ul>	
<p>2. 備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発・実用化の状況(国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む) <ul style="list-style-type: none"> <li>・メガフロートの納入実績有</li> <li>・ダブルハル構造タンカーの納入実績多数有</li> <li>・洋上石油備蓄施設の貯蔵船の納入実績有</li> </ul> </li> <li>・開発・実用化に向けた課題・留意点 開発要素は無いが、留意点を以下に示す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波対策の検討</li> <li>・港湾内船回し場の調整</li> <li>・東北地方の造船所活用の可能性</li> </ul> </li> <li>・その他(特許等を保有している場合の参照情報等)</li> </ul>	